

平成25年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業)

NO	事業名	団体名	評価コメント
1	科学教室事業	エデンの園科学教室	<p>【会長】 子どもの興味を探りながら実験に臨む点、子どもが楽しめる実験で科学の原理を直感的に知り、子どもの学習意欲を刺激する点などに感心しました。 子ども相手に試行錯誤を重ねる中で、講座の熟度を高める知見がいろいろと得られたと思います。そうした知見を新しく参加する会員も含めて、会員の間で共有し、継承されることを願うところです。</p> <p>【委員】 山崎さん等「理系女子」を輩出した松戸の基盤を育成する重要な事業である。その事業により市民活動の要素を大きく取り組むとすれば、お書きになられているように人材である。つまり、講師として、松戸在住の優れた科学者、研究者、先生方と交流できるかが興味深い。 「高齢化」という言葉もキーワードにしている、これもこれからの受渡事業では大きな意味になるのではないだろうか。先人として活躍された松戸関係者の知恵と経験を活かした多世代（美世）間交流も期待したい。（※美世代交流=多世代交流）</p> <p>【委員】 ・子ども達が科学を好きになるための事業であり、工夫、実験、手作りがすばらしいので、評価できる。 ・次世代指導者育成に問題点がある。地域社会との連携や教育委員会とのつながりを今後どうするかが、問題であると思う。 ・また協働事業への移行が求められる。</p> <p>【委員】 エデンの園の入居者はいわば移住者と言えるが、その方々が地域の子どもたちにプログラムを提供するという貴重な取り組みであり、生き甲斐づくりを越えて、地域づくりへのチャレンジととらえられます。多世代交流事業としても効果的な取り組みであり、継続した活動に期待します。</p> <p>【委員】 科学の知識を高めるだけでなく、礼儀作法や発表力まで身につく、児童にとって有意義な活動だと思えます。今後も講師の方々の健康に留意してますますの活躍を期待します。</p> <p>【委員】 学校の決まりきった科学ではなく「身近な科学」から「高度な科学」まで、子どもの興味をくすぐる教室なので、とても有意義な事業だと思えます。</p> <p>【委員】 講座の感想をアンケートではなく、子どもたち一人ひとりに発表してもらい、次回の講座に反映させることは、とてもすばらしい取り組みだと思えます。子どもたちの「ありがとう」の言葉で頑張れるとのことですが、今後も子どもたちに科学を学ぶことの楽しさを伝えていただけることを期待しております。</p>

平成25年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業)

NO	事業名	団体名	評価コメント
2	自主防災告知事業	栗ヶ沢中学校地域防災委員会	<p>【会長】 町の住民構成、居住形態、組織の歴史などが必ずしも同じでない11町会を自主防災でヨコつなぎし、町会単体の防災を広域化した点は素晴らしいです。そのことで万が一の際の避難所設営に市民同士の連携と協力の気持ちが養われ、円滑な対応の原動力になると期待します。 この活動で得られた知見をもとに今後の活動拡充に望まれることを期待します。また、同じような問題意識を持つ市内の他町会に対するノウハウの移転も検討されることを願います。</p> <p>【委員】 ・市民の防災意識を高めるために、是非推進してほしい事業である。地区は限定的だが、規模を考慮すると、まずは市民活動の第一歩としてこれでよいのではないだろうか。 ・PTA、学区町会、自治会、学校、地域団体との連携協働の架け橋として、応援したい。松戸が目指す「ガバナンス」の基礎づくりに貢献が期待できる事業である。防災から防犯、福祉など活動の広がりが楽しみである。</p> <p>【委員】 ・広域的な自主防災(地震等)組織作りがとてもすばらしく、評価できる(中学校区単位がとても実利的である)。 ・とても良い事業の考え方ですので、協働事業への移行が大切だと思います(広がりをいかに作るかが勝負だと思います)。 ・具体的な事業に発展させることを考えてがんばってください(協働の防災訓練等)。</p> <p>【委員】 11町会を含め多様な主体を巻き込んだ取り組みとして、求心力がある広域自主防災というテーマを掲げたことが成果につながっていると思われる。地縁組織がいくつも連携するためには、様々な困難が想定されるが、事務局体制を整えていることが事業の推進に結びついたと思います。</p> <p>【委員】 防災に対する地域住民への告知活動は大変なものだと感じます。今後も行政機関等との連携を図って、更なる活動の継続を要望します。</p> <p>【委員】 地域単位での防災は必須だと思います。町会単位では、対応が限られてしまいますので、この事業が地域単位の防災のモデルケースとなり、市内に広がってほしいと思います。</p> <p>【委員】 備蓄に関するアンケート調査、二度の講演会及び地域住民との収容避難所開設訓練の実施に加え、「栗防通信」の発行は、地域住民の方々に対して、本事業の認知度を高めること及び防災に関する告知に大変有効であったと思います。今年度の事業目標の一つである収容避難所の開設運営手引きの作成に期待しております。</p>

平成25年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業)

NO	事業名	団体名	評価コメント
3	自閉症・発達障害児者のための療育パンフレット作成事業	NPO法人 まつど自閉症センター	<p>【会長】 作成された「まつど発達支援ガイド」は当事者の目線を加えることで、身近で有益な情報源になったと評します。併せて、この問題のことをよく知らない市民に対しても理解を促す情報源になると期待できます。ガイドに掲載した情報はすぐに劣化することはないと思いますが、それでも情報更新は必要になってくると思います。そう考えれば電子媒体の方が効率よく情報更新や訂正が可能であり、またスマートフォン等で閲覧できるので利便性が高まると考えます。</p> <p>【委員】 ・当該事業は、教育委員会、障害福祉課等と協働連携可能な事業である。つまり、協働事業へ展開していただきたい。関係団体との連携も大いに評価できる。そのために求められるのは、着実な予算執行や透明性、説明責任である。活動そのものは有意義であり、松戸のために継続してほしい事業である。 ・「療育」等の条例（理念条例）制定までこぎつけることができれば、松戸もその分野では先進都市になる。また、これにより、人員、資金、組織も確実になるだろう。こういった展開を期待する。</p> <p>【委員】 ・この事業の1年目は、役立つマップ作りに成果が出ていて、評価できる。 ・今後の展開をどうするのが興味深い。マップの配布の後の母子ともに「つながり」や「きずな」を、どのように作っていくのかどうか課題だと思う。 ・協働事業へ移行して行けるように、期待しています。</p> <p>【委員】 作成された「まつど発達支援ガイド」は、当事者目線で編集され、市民活動団体の専門性を十分に発揮した成果であると思います。近年、発達障害が増えているといわれますが、早期発見につながれば適切な療育につながります。今後は、このガイドの活用をすすめ、必要な方に情報を届けられるようにと期待します。</p> <p>【委員】 「療育パンフレット」はアイディアに満ちた情報として自閉症、発達障害児者や家族の人たちにとって、とても有益だと思います。今後も幅広い情報の提供等の活動・活躍を期待します。</p> <p>【委員】 見やすく、わかりやすいパンフレットですばらしいと思います。</p> <p>【委員】 まつど発達支援ガイド保存版は、「見易さ・解りやすさ・手に取りやすさ」を追求したデザインで作成したといわれるとおり、作者である団体、ガイドを必要とされている方々、それぞれの思いが、いっぱい詰まっているすばらしいガイドであると思います。今後も「だれもが安心して、笑顔で暮らせる街」になるような活動を期待しております。</p>

平成25年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業)

NO	事業名	団体名	評価コメント
4	介護する人をリフレッシュさせてあげたい事業	NPO法人 Emiの樹ダイエツトボランティア	<p>【会長】 介護者のリフレッシュについて、総合型地域スポーツクラブの特性を活かした取り組みであったと評します。自団体の取り組みを土台にして新たなことを始めることは、全く経験がないところでゼロから始めるのと違って、活動の実現性と確実性が高まり、よい活動成果が生まれます。また、そうした取り組みは総合型地域スポーツクラブと福祉領域の連携といった活動のすそ野を広げる可能性も見出せると思います。来期は本来の活動に専念するとの話ですが、今回の経験を活かす機会を何処かで作って欲しいと願います。</p> <p>【委員】 これからの高齢社会において、重要な事業である。NPOとして必要な事業をされておられ、参加者数を増やしていても機能できるだろう。そのためには、更に行政、施設等との協働、連携を推進し、福祉の分野におけるガバナンスの一つの主体としてご活躍されることを願っている。</p> <p>【委員】 ・「快互」・介護する側の人達を、運動、栄養の面から教育研修出来るプログラム作り、実施が評価できる。 ・今後のこの事業のすばらしさの広がりが期待できる（協働事業への発展が大切だと思う）。</p> <p>【委員】 今回の取り組みは介護職の方々へのリフレッシュサポートでしたが、自宅で介護をされているご家族の方にも届けたいサービスだと思いました。他地域では街中に「ケアラズカフェ」という「場」を開催、悩み事、介護ケアの方法等をお互いに学びあうとともに息抜きをするという取り組みがあり、参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>【委員】 介護する人へのリフレッシュはとても重要なことではないでしょうか。今後も是非継続した活動を要望します。</p> <p>【委員】 後期は定員割れだったとの事ですが、単に告知(タイミング、回数)がうまくいかなかっただけではないでしょうか。とても良い事業なので、今回限りなのは惜しい気がします。</p> <p>【委員】 「介護」を「快互」にするための3つの具体的な方策を活動の柱として、介護で疲れた体を自分で癒せる体操をみんなに教えるという取り組みは、同じ悩みを抱える介護関係者から多くの支持を得られるものと思います。介護施設対象の出張講座の提案、施設側スタッフの育成等々、今後の活気あるコミュニティづくり活動に期待しております。</p>